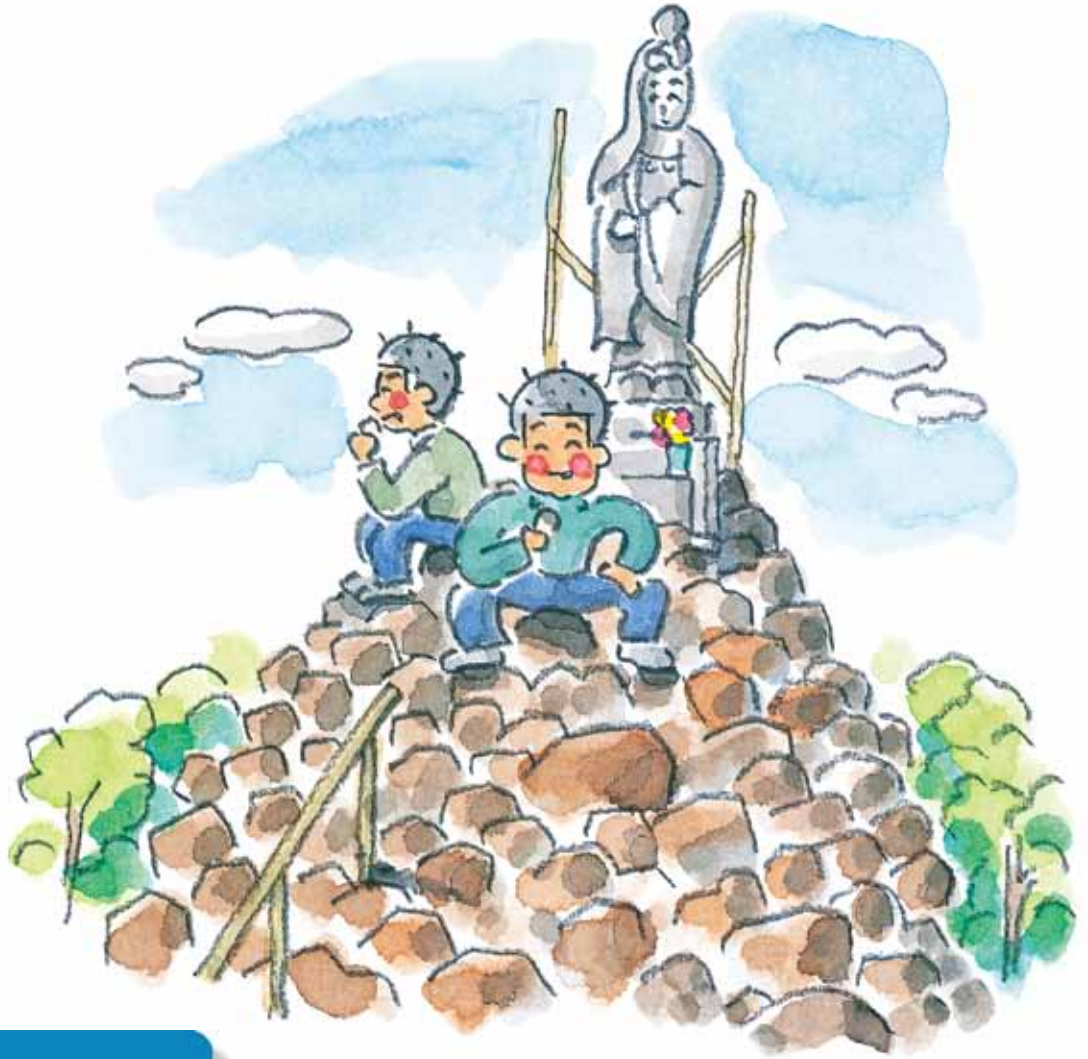


語り継ぐ、明日へ。

歴史はいつも未来へのみちしるべです
世の中の進むスピードと自分の生きていくペースが
少し合わなくなってきたなと感じ始めたら
いつか来た道まで戻ってみましょう



絶景をいただきながら

子供たちは高いところに上るのが好き。木の上はもちろん、屋根の上
や小高い丘。高みになれば背丈以上に世界が広がります。ここは小樽
市の源山^{みなもとやま}。といってもご存じない方がほとんどでしょう。今号、中野
植物園のグラウンド横の小道をたどっていく標高百五十メートル程の山です。
頂上には観音様がやさしい顔で小樽の街と海を見下ろしています。二人
のお目当てもその絶景？ ではなく観音様に供えられたお餅やお菓子類。
あの頃、本当におなかが空いていたのです。甘いものが食べられなかつ
たのです。観音様も笑って許してくれました。もはや時効です。

ひと街ごと No.24

- ・時の街角／旧北海中学校 2
- ・マチの博物館／中野植物園 3
- ・あるばむレトロボリス／円山動物園 4
- ・川筋を行く／石狩川⑤ 5
- ・来た道行く道／石心小野 6
- ・道具で道草30年 7
- ・時計のある風景 8

二〇〇八年 夏(全四回発行)

発行：(社)印刷紙工

札幌市中央区南十五条西十八丁目
TEL (011) 561-1597

編集：ひと街ごと刊行会

札幌市中央区北一条西十七丁目 北海道不動産協会館四階
(内)編集工房海内 TEL (011) 633-1651

時の街角

北海道開拓の村から

誰もが持っている学び舎の思い出
かつての木造はコンクリート造になって
「仰げば尊し」の童謡時代も遠くなりにつけり
でもここに来ればあのころがよみがえります
改めて木の良さを見直すことでしよう

懐かしい学び舎 思い出す木造のぬくもり

旧北海中学校 明治四十二年（一九〇九）建築

わが国に近代学校制度がしかれたのは明治五年（一八七二）のことですが、開拓期の北海道は建物や教員が不足していました。各家庭にも経

れています。そのうちの一つが北海中学校の前身母体、北海英語学校でした。明治十八年（一八八五）の創立です。翌十九年に中学校令が公布されましたが、以後も中学校の数は少なく、札

で、札幌農学校に進学するための予備校的な学校がいくつか設立されています。

済的な余裕がなく、学校教育が普及するまでに時間がかかりました。さっぽろ文庫「札幌事始」によりますと、「札幌を含めた本道の教育は、当初、下には小学校があり上には（札幌）農学校があ

幌市内の公立開設は札幌尋常中学（二八）など三校だけ。同校の果たした役割は大きなものがありました。

北海英語学校は明治三十八年（一九〇五）に北海中学校となり、翌年に豊平区に移転。同四十二年に建てられた本館部がこの建物です。昭和二十三年の学制改革により、北海道等学校となりました。

特徴のある外観です。当時の木造の官公庁の建物や校舎にみられる左右対称。中央部に玄関を配して両翼がせり出しており、屋根の上の飾り窓、窓や軒の周り、棟飾りまで徹底されています。平屋なのでいかにもどっしり。淡いブルー系の中間色が進取の気風を表わしてもいます。



中に入ってみましょう。玄関ポーチをくぐると高い天井のホール。左に校長室、右に事務室。長い廊下の片側に理科室や実験室、職員室などが。室内の木の感触を確かめながら

展示物などを見て歩いてみると、懐かしさとともに何となく安心感のあることに気が付きます。木のぬくもりを再認識させてくれる木造校舎散策です。

長い廊下、窓枠、机、椅子——昔の学校は何から何まで木製で校内全体にぬくもりと安心感があつた

平屋のどっしりとした左右対称はお役所的な権威も感じさせるが学問の府としての存在感が年少者の憧れを形成したことだろう

坂の街、小樽。手宮から清水町へ向かう坂を登りきって下りに差しかかると、さらに山へ進む小道と中野植物園と大書されたアーチがあります。一帯の面積五万平方尺（二万五千坪）。市民にはよく知られている行楽の場所です。

手宮でそば店を経営していた故中野鹿蔵さんが趣味で始めたのが明治四十一年（二九〇八）。私設の植物園とはいえず今年創立百周年を迎えます。二代目園長の中野平八郎さん（七〇）に、記念に何か考えていることがあるのか聞いたところ、「まったく考えていません。父から何も変えるなど言われていませんから」ときつ

創立百周年という私設植物園の歴史もさることながら、点在する遊具類の形や設置場所が戦前からまったく変わっていないというのですから、これだけでマチの博物館の資格？ は十分です。

何も変えない 百年のタイムマシン。

ぱりとした返事。

何も変えない——それは昔からあるものはそのままだに、新しい物は加えないというということです。だから樹木は年ごとに変化していつても、点在する遊具類は昔のまま。腕白時代をここで過ごしたことのある五十年代、六十年代の男性が「ええっ、全然変わってない。懐かしいなあ」と驚嘆の声をあげるのです。



何の変哲もない遊具類。小さいころはこんなのに乗るだけで楽しかった

ノムラモミジは成長しても、遊具類は昔と寸分変わらず



初夏から色付くノムラモミジ。右は園長の中野平八郎さん



所に修理を依頼し、ペンキを塗り替えています。変わらないのは樹木や庭石、灯籠、狛犬などの位置も

その遊具がまた単純素朴。鉄製のゾウやウサギ、ウマに乗る手動式メリーゴラウンド。そしてシーソー、ブランコ、滑り台。どれも当時の鍛冶屋が作ったもので、赤や青の原色のペンキで塗られています。「大人たちが花見で飲んだり食べたりしているときに、子供たちは退屈だろうと考えたのですよ」と平八郎さん。戦前はずっとたくさんあったのですが、戦時中の金属供出で接取の憂き目にあつたとか。現在でも毎年、鉄工



パンフレットにも古色。左は園内のダイコクさま

狛犬がなぜここに——でも不思議と溶け込んで



敷地内のグラウンドは幼稚園や団体などの運動会に貸したり、園内のどこでやってもいいというジンギスカンの七輪セットの貸し出しも。入園料二百円。



古代文字だそうだが石の形も奇妙



入口の歓迎アーチ。この飾り気のなさにも味が



待ちに待った春一番の行楽は
今も昔も動物園(昭和37年)



あるばお レトロポリス

円山動物園

最後に動物園に行ったのはいつですか
子供が大きくなっても何年も、いや先日、孫と一緒に
たまには足を運んでみるといいですよ

三種類でも希望の開園 ネット時代の夢は何——。

旭川市の観光名所にもなっている
旭山動物園。七月初めにそのホーム
ページを訪ねてみたら、アクセス件
数はすでに八百万件を超えていまし
た。札幌市の円山動物園の携帯サイ
トにもアクセスしてみると、今日の
ドキドキ体験として、ニホンザルの
ランチタイムやカバの大口体験、猛
きん類のフリーフライトといったス
ケジュールがたくさん。見たい時間
に来園をという誘いです。

その円山動物園の開園は昭和二十
六年(一九五二)五月のこと。当
初は円山児童遊園という名称で、

動物はヒグマ、
エゾシカ、オオ

ワシの三種四点。乗り物は子供電車
とオートスクーターだけでした。ヒ
グマはつがいを購入。エゾシカは稚
内市から、オオワシは厚田村(現石
狩市)で村民が捕獲・飼育していた
ものの寄贈でした。ちなみにオオワ
シの名前は平成十四年に推定五十二
歳で死んだバーサン。五十一年間に
わたる飼育記録は世界最長です。

円山動物園開設のきっかけは前年、
円山坂下グラウンドで開かれた上野
動物園からの移動動物園がたくさん
の人で賑わったこと。戦争が終わっ
て五年が経過していましたが、人々
の心はまだ癒しを求めているのです。
えさは八百屋や魚屋からもらい受

け、動物も市民からの寄付で
順調に規模を拡大し、昭和
二十八年、初めて市費で購入
したのがゾウの花子です。昭
和三十年代に入って人気を呼
んだのはチンパンジーのテー



写真中は子ども動物園の開園(昭和40年)
下はキリンの檻(同37年)

※上四点の写真提供/札幌市写真ライブラリー ※参考文献/さっぽろ文庫7円山動物園



現在の円山動物園
動物たちと触れ合えることも動物園は
いつも家族連れに大人気



ブルマナーやカンガルーのボクシン
グといったショー。また子ども動物
園の開設、近隣市町村への移動展示
なども行われました。
こうした草創期の苦勞があり、動
物園に行くことが素朴な楽しみだっ
た時代から、現在の飼育動物は百
七十八種、八百九十三点に。テレビ
やネットでも常に動物を見られる時
代になりました。しかし、人と動物
の距離は近くなったのでしょうか。
命の大切さは伝わっているのでしょ
うか。忘れかけていた風景、動物の
感触を、大人のあなたももう一度。

石狩川 五

石狩炭田

昔の栄光、いまどこへ 産業遺産が教えるもの

母なる川ゆえに受け容れてきた清濁の数々
その多くは支流域の栄枯盛衰でしょう
空知の夕張川や幾春別川で隆盛を誇ったのは
近代日本の発展の原動力となった石炭産業でした
忘れてはいけないヤマの記憶です

頭の中で北海道地図

を描いてみて、かつての炭鉱地帯
がどのあたりに位置するか言えま
すか。それは、石狩平野を石狩川
とほぼ並んで走るJR函館本線の、
岩見沢―滝川間の東側というとわ
かりやすいでしょうか。空知管内

夕張市があります。

少し南に下がったところに

志内、赤平、芦別

や美唄、歌

の三笠

川筋を行く

人と川の
様々な
かかわりを
たずねて

を小樽
の手宮まで

運ぶために、官
営の幌内鉄道が建設
されました。

幌内炭鉱と官営鉄道とは

もに明治二十二年、北海道炭
礦鉄道に払い下げられます。北

炭はすぐに夕張、空知（歌志内）

両鉱を開き、鉄道の運行も開始

続いて明治時代後半からは九州の
筑豊炭田を経営していた財閥系資

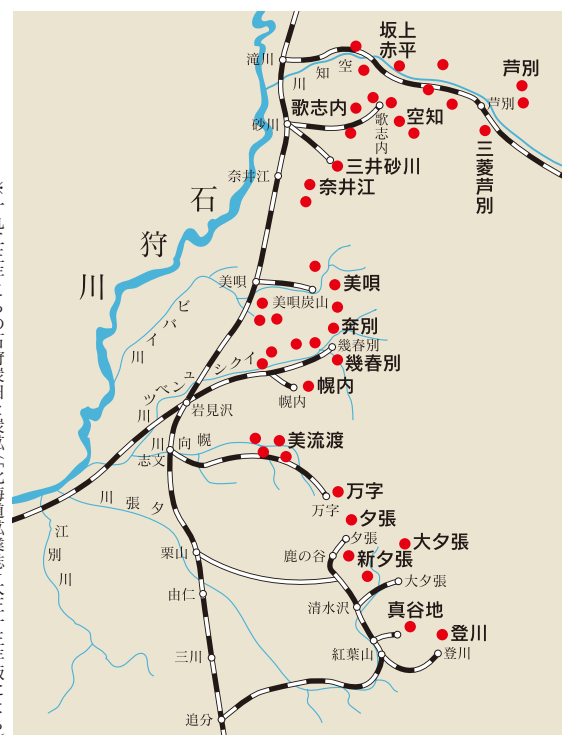


同じく北炭幌内立坑(写真上とも三笠市)

本の三井、三菱、住友が道内炭鉱
の開発に着手し、夕張や美唄、赤
平、芦別などに拡大していきます。
これらの総称「石狩炭田」は、
大きく空知炭田と夕張炭田に分け
られ、両炭田はさらに地質や炭層
などから、次の六地区二十地域に
分けられます。

●空知（芦別地区）北芦別、東
芦別、平岸・高根、西芦別（赤平・
歌志内地区）赤平・歌志内（砂川・
美唄地区）砂川、東美唄、奈井江、
西美唄

●夕張（幾春別地区）奔別、幌
内（夕張地区）朝日、美流渡、万



※一九三三年ごろの石狩炭田と炭鉱（北海道炭業誌「大正十三年版」による）
「石炭の語る日本の近代」(そしえて)から

字、角田、夕張、平和、清水沢（大
夕張・登川地区）大夕張、真谷地・
登川、穂別

道内に長く住んでいる人なら、
このうちのいくつかの炭鉱は耳に
したことがあるでしょう。特に戦
後の労働争議、事故、閉山、鉄道
廃線といったニュースで度々登場
しました。その衰退への途はここ
で述べるまでもないことです。

最盛期には日本の六割を生産し
た道内の炭鉱が現在は、坑内掘り
の鉋路一つと露天掘りを数鉱残す
のみ。華やかだった石炭産業の歴
史をこのまま埋めてしまつてよい
のかという動きが近年、盛んにな
つてきています。

産業遺産の見直し、炭坑節の全
国大会、郷土料理の復活、国際的
な炭鉱歴史学会―それは、効率

と利潤の追求だけで世の中が進ん
でいくのなら、やがて身の回りの
生活に欠かせない産業も切り捨て
られていくのではないかとこのこ
とへの危惧でもあります。

一度でも、炭鉱遺産の前に立つ
てみると、現在ある生活、抛つて
立つ基盤を、反省とともに振り返
らざるをえないはずだ。



三井美唄第2坑選炭場の原坑ポケット

来た道、行く道。

様々な先達がいるからこそ
二十一世紀があるんだよ——
スローコミュニケーションを求めて。

本欄への自薦他薦を
お待ちしております。

石を切り出したり加工したりする職人のことを石工といいます。様々な仕事の職人がいるのに、その呼称に工（たくみ）と付く大工や石工。古くから古墳や寺院の建築に重要な役割を果たしていたからでしょうか。

この道五十年という小野哲司さん（六）が経営する「石心小野」のホームページには、「私たちは石工の石屋です」という企業理念の一つが掲げられています。その「石工の石屋」とは、ほとんどが機械による作業に移行した現代にあつて、石工の技術を代々受け継ぐ数少ない家系ということなのです。

札幌軟石で墓石を作る小野石材店の創業は昭和九年（一九三四）のこと。三男の哲司さんは、小学生のときから朝三時に

札幌軟石を削る小野哲司さん。左肘を腰の部分に固定して右手首を動かす



小野さんが大切にしている道具。上半分が軟石用、下が御影石用

起きて
ふいご
で火を
おこすの
が日課で、十
五歳で石材加工の見習い。



自然石で作ったフクロウの置き物

店が小野石材工業と株式会社組織となつてからは、三十歳前には丁場（現場職長）となり、以後、石張りや公園の工事、工場での墓石加工など、石を扱うすべての技術を身に付けました。

砥石を使って手で石を磨いた時代を生きて、軟石の灯笼彫りや、詩碑などの手書き文字を現地で彫ることのできる数少ない職人——それだけに独立したいという思いも強く、長兄が継ぐ会社を離れて現在の「石心小野」を十一年前に創業しま



石心小野
札幌市北区屯田5条3丁目3-14
TEL (011) 772-3244

した。場所は札幌市北区の住宅団地の一角。家族経営で展示場もかねて、道行く人に気軽に入ってもらえることを心がけています。

大きな力となつているのが五年前、長

さんの仕事。ログハウス風の石の小物売り場を兼ねた事務所は邦雄さんの奥さんのアイデア。冬場の仕事、札幌軟石を使ったエアプランツの花器や、自然石のフクロウなどもセン



メインの仕事は墓石
石狩市に別工場がある



札幌軟石の灯笼も
こちらのオリジナル



営業で動き回る
長男の邦雄さん



事務所内では石の小物類を展示販売

硬い仕事を軟らかく—— 親子で伝える 石工の技術と誇り

小野哲司さん——札幌市・石心小野



男の邦雄さん（三七）の入社です。邦雄さんはコンピュータ関係の会社のサラリーマンだったそうですが、

「質の良い石はいつまでも光沢がある」。だからお客さんには、予算の関係で多少お墓が小さくなくても、ツヤの長持ちする石をと。いくら良い石でも必要な長期間のメンテナンスは、邦雄さん

なぜまた百八十度違うような世界へ？「何かの折りに小野の名前を出すと、ああ、あそここの小野さんねと言われるくらい祖父の代から知られているのに、後継者がいないのは寂しいと思うようになりまして（邦雄さん）。でもコンピュータと墓石、つながりますか？「今ではお墓もいろいろなデザインが出回るようになって、三次元の（立体的な）絵で提案しないと仕事にならないんですよ」。納得！



住宅街にあるだけに
気軽に入れる
墓石の展示場

んがいるから安心です。二人の職人さんとともに、存分に石工の仕事ができるということなのです。

レトロスペースの敷地の塀を壊すまでに成長した木
切り倒さずに残す道を選んだ筆者は
上辺だけのCO₂削減、環境サミットに憤る

レトロスペースの東側の塀の脇に一本の木がはえている。植えたわけではないのだから、種が飛んできて自然に大きくなったのだろう。競争相手がいなかったせいも、今ではちよつとした大木に成長してしまった。見てみると、木が太くなるにしたがい、ブロック

塀にぶつかり、ついには圧迫して塀に亀裂を作ってしまったという。危ない！

何思う、「サミット木」、そして街路樹、庭の木たちよ。

このままだと塀を崩しかねない。

チェンソーによる木の切断を一瞬考えた。これが一番簡単だから。でも、結論は少し待つことにした。

私が小さい頃、札幌はもつと緑があった。それが今ではアスファルトで覆われた砂漠になってしまった。何もサハラだけの話ではない。ここも同じだ。

子供の頃、五〇センチも掘ると水がにじんできた。初めは濁っていて、しばらくすると澄んできて、ピョンヤリと冷たくて気持ちよかった。掘ってみたことはないけれど、今は何メートル掘っても水は出てこないと思う。地面のすぐ下に水がなければ、

ば、夏、ヒートアイランド現象が起るのあたりまえ。

樹木が地下から水を吸い上げ、それが葉っぱから太陽の熱で蒸発していく。その時、熱を奪って温度が下がるし、空気の対流が起こってそよ風が吹く。夏の暑さも少しはやわら

ぐ。クーラーを設置すればよいというのではないだろう。

今もレトロスペースの前の旧五号線を、車が音と排気ガスを撒き散らして絶え間なく通り過ぎて行く。CO₂を唯一吸収してくれる両側の並木は、毎年の剪定作業により痩せ細り、それを期待されても無理というもの。

元々この地球に酸素などなく、有害な太陽の紫外線が、じかに降りそそいだため、一切の生物は地上には住めなかつたはず。それを海の中の植物が、炭酸同化作用をして酸素を作り出してくれ、やがてそれが地上に、さらに上空へと上り、オゾンの

薄い膜を作って、太陽の有害な紫外線をカットしてくれたから、我々人類の先祖も地上に住めるようになったのだ。

人類は、森の中から木々に守られて繁栄してきたにもかかわらず、過去百年の人間は、それを忘れ、植物

が作り出し、ためこんでくれた酸素を消費するばかり。おまけに炭酸ガスを撒き散らし、あま

つさえ生命の素の樹木の伐採は止むことを知らない。アマゾンの熱帯雨林を守れと人は言う。だが、その前に日本の木々を、そして我々の住むこの札幌の、せめて自分の周りの木を守らずして、どうして南

米のことが言えるのか！
CO₂の削減とは発展途上国からCO₂の排出権を金で買うことでは本来あるまい。地面に木を植え、今ある木は基本的には切らないうことではなければ、温暖化はもう止めることが出来ないところまで来ているのだろう。

無力ゆえ、街路樹の伐採剪定すらも止めることのできない自分。せめて自宅の樹木だけでもと思い、父母の代からの植木屋さんに今年からは「庭はいいわ」といって、剪定をやめて数年。全面木に囲まれた家になつている。

剪定をしていた頃、上ではなく横へ横へと伸びる木があった。きつとこの木はそういう性質なのだろうと思つていた。剪定をやめて翌年あたりから、おそろおそろ上の方に伸び出した。きつと木のほうも上に行く

と剪定されてしまうので、左右に伸ばしていったのだろう。木にも心はあるんだ！
また、幹から枝がワヤワヤと出てくるのだけれど、太陽にあたらな

枝は自然に枯れていって、木にとつて一番理想的な形になることもわかつた。何人も手が加えなくとも木にまかせておくことが一番よいことも。今の人間は他の動植物に対してあまりにも暴君。そう思い、レトロスペースの大木も幹と接している部分の塀のほうを一部取り除き、木のほうはそのままにした。

今年、洞爺湖サミットの年。環境サミットの掛け声だけがむなしくひびく。

私がそう名付けた「レトロのサミット木（ぼく）」よ、人間の命の素、酸素を作り出しCO₂を吸収してくれる樹木をひたすら切り尽くしていく人間のいとなみを、お前は思うのだろうか？



上は切り倒さず塀に空間を作ることで大きく成長した木と筆者
下は庭木のせん定をやめて数年たつ筆者の自宅

何かに追い立てられるように過ぎていく毎日。いつもそこにある時計に、足を止めることを忘れていませんか。

火事は昔、いま、いか電。

古い街並みによく似合う時計塔です。場所は小樽市の手宮銀座商店街。近所の人に聞いたところ元は火の見やぐらで、二十年程前に、商店街の四十周年を記念して、やぐらの外周りを新たな鉄骨で強化・保存したものの。その時に時計も併設したそうで



す。夜間のライトアップとともに、火事の多かった昔を忘れないように。商店街の夏の風物詩、イカ釣り船の集魚灯を会場に灯してピヤガーデンやステージショーを楽しむ「おたるいか電祭り」は、この火の見やぐらの下で賑やかに繰り広げられます。



Now Printing

●本づくりのパートナー
(社)印刷紙工

居間で本づくりセミナーを
自分史など本をつくりたいと考えている人のために、出前の本づくりセミナーを承ります。三人以上のお集まりで会場をご用意いただけます。日時をご相談の上、印刷担当者や編集者がお伺いいたします。ご自宅の居間でも結構ですよ。もちろん無料です。

記念誌は未来への道しるべ
企業や団体の十年を一区切りとする創立周年。二十周年、三十周年と歴史を重ねていく度にその歩

質問箱

本づくりの「？」にお答えします。お気軽に質問をお寄せください。

Q 自分史を一冊の本にまとめるつもりで資料を集め、筆を進めているうちに、自分でもなかなか面白く、良い出来ばえではないかと思えるようになってきました。本屋に並べられないかと考えております。どうしたら書店で売ってもらえるでしょうか。

「自分史」の書店売りは無理

A 結論から先に言いますと、個人的に知り合いでもないいかぎり、あなたの本を書店で売ってもらうことは100%無理でしょう。本が書店に並ぶまでのルートは、出

版社→取次会社→書店という流れになっています。取次会社とは東販や日販などのことで、出版社はこうした取次会社に取引口座を持っており、図書コード(I S B N…)も取得しています。

それ以前に、出版社は本が商品として売れなければなりませんから、企画、編集、販売に綿密なプランを練って臨むことは言うまでもありません。そんな何万部という本と、一冊の自分史が書店に同時に並ぶということは考えられません。

百歩譲って、あなたの集めた資料や特定分野の話の本にすれば売れると出版社が判断した場合には、出版社の方から何らかの働きかけがあるはずです。どうしても本屋で売りたいのなら、まず「あなたの原稿を本にします」と宣伝している出版社にでも相談してみるとよいでしょう。

みを記録しておかなければ資料が散逸、功績のあった人も物故していきます。未来への道しるべ、歴史はきちんとまとめておきたいものです。企画、編集、印刷、どの段階からでもご用命を承っております。

小紙を無料で差し上げています
慌しい時の流れに、ほっと一息つける話題を提供していきたいと願っている小紙。ご希望の方には無料で定期的にお送りしております。印刷紙工までお申し込みください。